

没後400年

地元・八王子で慰霊祭 まちおこしへ機運

八王子市の街の基礎を築いたとされる江戸幕府の代官、大久保長安(1582-1653年)の没後400年の機運が各地にある。同日、同市小門町の寛平代官御社で行われた。これまでにあまり知られていなかった長安を顕彰し、地元歴史に関心を喚起する動きが、まちおこしにつなげられる可能性がある。

長安は16世紀末、徳川家康が江戸に移ったのに合わせ、西の守りの要である八王子で前線町の整備や浅川の治水に取り組んだ。ほかにも石見銅山(島根県)や佐渡金山(新潟県)の経営、街道の整備など、江戸幕府の基礎を築いたと評される。

参道脇には陣屋跡を示す石碑があるが、氏子親代の福田孝男さん(引)は「約400年経った氏子のほとんどが長安の名前すら知らない」と話す。一方で、島根県や新潟県から見学者が訪れるという。



風疹の流行を受け、妊娠を希望している女性と妊婦している女性におき、ワクチン接種費用を助成する事業が自治体が増えている。妊娠初期の女性に感染すると、胎児に障害が起る可能性があるため、自治体は接種を呼びかけている。
都の調べでは4月21日現在の今年の実績風疹患者数は1644人で、昨年度の合計の約1.5倍、多摩地区でも、多摩府中保健所(府中市)管内で前年、多摩小保健康所(小平市)管内で74人など、軒並み昨年度の合計を大きく上回っている。
そこで都は3月、妊娠前19歳以上の女性と、妊娠中の妻を持つ夫を対象に、風疹の予防接種に関する助成制度を実施する自治体に対し、自治体負担分の半額補助を行うことを決めた。これを受け八王子市や立川市では、対象者が指定の医療機関で無料で予防接種を受けられるようにした。目的の出町でも1月から無料接種を実施する。八王子市の担当者によると、一人の多い都心部に通勤している人も多く感染リスクも高い。全額無料であれば接種を受けてもらいやすいと考えたと話す。

接種 指定機関なら無料 風疹阻止 自治体が知恵

八王子・立川



風疹の予防接種をする今西院長(25日、八王子市の福原内科クリニックで)

都によると、多摩地区30市町村のうち、25日までに20市町で予防接種事業が実施されている。小平市や国分寺市では、風疹ワクチン接種で30000、37000円、風疹風疹の混合ワクチン接種で50000、54000円の自己負担が必要だ。八王子市八日町の福原内科クリニックでは、同日で助成が始まった3月21日か

らの36日間、5人が無料の予防接種を受けた。また風疹の流行を受け、3月1日からの56日間、無料接種の対象外となる19人が自己負担で予防接種を受けている。今西院長は「妊婦が風疹感染すると、生まれてくる子どもの目や耳に障害が出てくる可能性がある。予防する手段がある以上、積極的に予防接種してほしい」

い」と呼びかけている。妊娠中に風疹に感染し、長女を18歳で亡くした町田司副市長(59)は「岐阜県在住の佳代さん(59)は、風疹ワクチン接種の無料化を求めてインターネット上で署名活動を続けている。『私と同じつらさや苦しさを味わう人になりたい。予防接種を受けたい。周りの人にもその必要性を伝えてほしい』とえている。

フェンシング会場調布の候補施設概算案が招致を目指す。2000年夏季五輪で、近代五輪のフェンシング会場になった「武蔵野の森総合スポーツ施設(仮称)」(調布市の施設概要が23日、公表された。今年10月に竣工し、3年後に完成する予定だ。都によると、同施設は、の森スタジアムに隣接し、メインアリーナ棟とサブアリーナ・プール棟とサブアリーナ・プール棟から容人員は1万1000人で、スポーツ大会に限らずコンサートやイベントに使用できる。サブアリーナ・プール棟はバレーコート

敏彦会長)は、研究者の講演会を開いたり、論文集企画したりしている。同小保能範さん(64)は「史は貴重な観光資源。まは地元で機運を高めた」と意気込む。市教育委員会も「市民の動きに呼応。今年予算に504万円を計し、市郷土資料館(上野町